



夢をかたちに

RIテーマ

会報

クラブ 会長テーマ

「人の和・縁を大切に「なかま」との楽しいふれあいを」



2008-8-27 第 8 4 7 回例会 NO. 19-6 2008-9-3 発行

新藤ガバナー公式訪問例会

【クラブ協議会】

議長：会長 伊澤ケイ子

司会進行：幹事 小田 良生

会長 伊澤ケイ子

◎はじめに

今年度は、奉仕プロジェクトとして「障がい者テニススクール」、「ロタキッド合唱団の慰問を支援する」を継続実施し、併せて、今年度RI会長テーマ「夢をかたちに」を具現するうえでも欠かせない会員増強を、「なかまを増やそう」プロジェクトとして、また、多摩市友好都市 長野県富士見町の「富士見RCとの友好関係を築こう」を新規の奉仕プロジェクトとして掲げております。本日は有意義なクラブ協議会となりますようによろしくお願いします。

◎「なかま」を増やそう会員増強プロジェクト

実施委員長 関岡 俊二



会員増強委員会の活動計画に「全会員が増強の大切さを認識し、会員増強に積極的に取り組む。」と記しております。「なかま」を増やそう会員増強プロジェクトでは「増強プロジェクトを起こす」「増強ツールを作成する」「会員増強チーム（キャラバン隊）を構成する」・・・を具体的実施項目として捉えております。

本日配付の資料2、はキャラバン隊チーム構成一覧表。3、は総計100名を超える過年度新会員候補者一覧表。4、は当クラブからの退会者名簿（85名）。5、はRCが与える15のメリット（川尻地区研修リーダーレポート）。以上の資料を活用して「なかまを増やそう」プロジェクトの実施に供したいと考えます。

本日配付の資料2、はキャラバン隊チーム構成一覧表。3、は総計100名を超える過年度新会員候補者一覧表。4、は当クラブからの退会者名簿（85名）。5、はRCが与える15のメリット（川尻地区研修リーダーレポート）。以上の資料を活用して「なかまを増やそう」プロジェクトの実施に供したいと考えます。

・地区現況報告 会員基盤強化委員長 赤尾 恭雄

先週の例会でお話いたしました当地区の会員数は「年間を通して増えた分だけ減少する」という傾向が続いており、

事務局 〒206-0033 多摩市落合1-43 京王プラザホテル多摩 561号 Tel 042-372-6463 Fax 042-372-6491 E-mail tamagre@cello.ocn.ne.jp

会長：伊澤ケイ子 幹事：小田良生 クラブ会報・記録委員長：萩生田政出 副委員長：加藤喜三郎 例会場 京王プラザホテル多摩

委員：相京孝明・足立潤三郎・赤尾恭雄・杉野志保子・海野榮一・城正太・小泉博

例会日 毎週水曜日12：30 月最終例会18：30

昨年度の純増達成地区は、全国34地区のうち当地区を含みわずか数地区にとどまりました。

会員の経済的負担が大きいこともその要因の一つと考えられます。クラブは運営管理経費の削減を図り、会員の経済的負担の軽減を図ることも不可避かと思えます。

我が国RC会員の平均年齢は42歳代前半（世界は37歳代前半）。90年代、クラブ会員数60名が目標とされましたが、現在では43名程度。当クラブでは当面の必達目標として43名を掲げ、現状から9名の増強を是が非でも実現する必要があります。

・質疑応答

大松 誠二会員

キャラバン隊編成が11組ということで11名の増強が出来た様で大変に心強い。ロータリーの友（8月号）によると最大時13万人から昨今では10万人未満となっている。この低下傾向は株価下落の推移をなぞっているように思われる。ただ、経済的環境変化にのみ起因しているようには思えない。経済的要因とは別にロータリーに代わる組織が色々と登場（NGO、NPO、各種ボランティア活動など）してきたことや組織や団体に対する価値観の変化の影響を受けているように思われる。地域におけるRCのあり方として、今後はクラブで行う奉仕活動の実態を直に地域の皆さん（とりわけ地域の若者達）に呼びかけることが重要と思う。

：「なかま」を増やそうプロジェクト実施委員長 関岡 俊二

このクラブに入りたい、入らせてもらいたい。という理想的なクラブでありたい。

・質疑応答

足立潤三郎会員

会員減少要因の一つとして、ロータリアンのモラルの低下が考えられる。また、RCのみが掲げてきていた「職業奉仕理念」や「職業分類概念」への取り組みについて・・・つい最近にいたって今までの「考え」が変化（軽視）している傾向にあるのではないかと（定款第5条会員、第2節クラブの構成、を提示して説明）。ところで、ライオンズクラブとロータリークラブの違いは何処にあるのでしょうか？

◎富士見RCとの友好関係を築こう

実施委員長 小田 良生

先般、村上久会員とともに富士見RCをお訪ねし、遠藤幹事様にお会いして参りました。クラブ間の交流には「友好クラブ」と「姉妹クラブ」があるようですが、この際、「友好クラブ」としての交流を推進する旨を確認し、先方の理事会でもご検討いただける手筈となっております。具体的には「移動例会」での交流等を手がかりに・・・と計画しております。

◎講 評 ガバナー 新藤 信之 様

只今のクラブ協議会で「なかま」を増やそうプロジェクトの詳細をお伺いしましたところ、当クラブ会員数は早々にも40名を超えること間違いなし・・・と、確信しました(笑)。さて、2750地区全体では5月末～6月末の1ヶ月で152名減少。また6月30日～7月1日の一晩で34名減少しました。この数字が示す意味は・・・単に、経済的要因だけからの現象ではないのでは？これだけの退会者が一挙に出現する理由としてロータリーに対する期待はずれの思いの結果であるとも考えられます。ロータリーは親睦活動と奉仕活動とで成り立っていると考えますが、新会員入会時に温かく迎える態勢がクラブに備わっているかどうか？また、奉仕の分野では大松さんご指摘のように、地域の変化に対応した奉仕活動が出来ているか？心意気が伝わらず、また「奉仕」に熱心な会員ほど失望して退会される例が多いのも事実です。足立さんからは難しい質問ですね。ロータリーとライオンズということですが、ライオンズはさておき・・・ロータリーは、地域社会で活躍するボランティアの世界的ネットワーク(あるいはパートナーシップといい代えることも・・・)であり、ロータリアンは職業倫理を重んじる職業人・・・とお伝えいたします。従来「職業分類」は重要でありましたが、現在では意味合いが多少変化してきておりますね。昔、会員が同職業であると、それぞれの利害がぶつかりあう懸念がありそれを避ける上からも職業分類は重要だとされてきました。近年になり社会の職業構造が変化し、職業人そのものが多面化、多層化への変換を余儀なくされてきています。また、クラブを構成する正会員に、必ずしも職業人であるとは限らない地域社会のリーダーやロータリー財団学友が含まれる様にもなってきました。世界の200以上の国と地域に33,000近くのクラブ(会員は120万人以上)を擁するという基礎基盤があり、国や地域を超え有益な事業を担っているロータリー・クラブをもってしても、今後は色々な団体と「協働」しなければ日々変化する世界的問題への対応が困難な事態に直面しております。

それぞれのクラブが各地域内のニーズに対応した奉仕活動を行うことが最重要であります。・・・例えば「富士見RCと友好クラブを築こう」に見られるようなクラブの枠や地域を超えた活動、地域や国を超えて海外に目を向けた奉仕プロジェクトへの関心も必要と考えます。

◎講 評 多摩東グループ ガバナー補佐

遠藤 誠幸 様

今年度冒頭に行われました多摩3グループ合同IMにご協力を頂きましたこと、この場をお借りして御礼申し上げます。さて、ライオンズとロータリー。私見ですが・・・ライオンズは奉仕活動として物品を寄附(供与)する。ロータリーは職業を通して(心のケアを伴う)奉仕活動をする。かつて、ロータリーは陰徳でなければならないと聞かされて来ましたが、昨今の時代の流れにより「広報」しなければ会員が減るという現実に向き合っているのが現状です。

調布むらさきRCは、会員数84名ですが新年度に入って既に5名の増強を行いました。増強委員長が入会3年目の40代の若い方で、ご自分の目線で若い方を誘って居られます。

【例 会】

◎司 会 SAA・親睦委員会 大松 誠二

◎点 鐘 会長 伊澤ケイ子

◎国歌斉唱「君が代」 ソングリーダー 吉沢 洋景

ロータリーソング「奉仕の理想」

◎「四つのテスト」 ロータリー研修委員長 村上 久

◎お客様紹介 会長 伊澤ケイ子



ガバナー 新藤 信之 様

ガバナー補佐 遠藤 誠幸 様

グループ幹事 田中 茂和 様

東京東村山RC 野村 高章 様

米山奨学生 畢 波 様

◎会務報告 会長 伊澤ケイ子

・9月3日、クラブ細則変更に伴う会員総会を行います。皆さんの出席をお願いします。・・・私事ですが14年前、矢野パストガバナーにバッチを付けていただいたことを記憶しております。丁度ガバナー訪問時であったようで、今更ながらではありますが光栄に思います。

◎幹事報告 幹事 小田 良生

・本日の幹事報告、ございません。

【委員会報告】

◎出席報告

出席奨励委員会 小坂 一郎

会員総数 34名
出席義務者数 33名(出席免除者1名)
出席者数 30名
欠席者数 4名(事前MU1名)
出席率 93.94%

◎ニコニコBOX

SAA・親睦委員会 小泉 博

東京東村山RC 野村 高章 様

ご無沙汰しています。暑さも一段落した様ですが、暑気払いをしましょう。

伊澤ケイ子 新藤ガバナー、遠藤ガバナー補佐、田中グループ幹事、本日はご苦労様でございます。

小田 良生 新藤ガバナー、遠藤ガバナー補佐、田中グループ幹事、ようこそおいで下さいました。宜しくお願い申し上げます。

尾 恭雄 新藤ガバナー、遠藤ガバナー補佐、田中グループ幹事、本日はありがとうございます。ご指導のほど、よろしくお願い致します。

阿部 華歌 新藤ガバナー、遠藤ガバナー補佐、田中グループ幹事、ようこそおいで下さいました。

足立潤三郎 新藤ガバナー公式訪問を記念して。

大松 誠二 新藤ガバナーようこそいらっしゃいました。

萩生田政由 新藤ガバナー、遠藤ガバナー補佐、田中グループ幹事、よろしくお願い致します。

伊藤 英也 新藤ガバナー、遠藤ガバナー補佐、田中グループ幹事、今日はありがとうございます。

岩野 京子 新藤ガバナー、遠藤ガバナー補佐、田中グループ幹事、ようこそおいで下さいました。

北嶋真知子 新藤ガバナー、遠藤ガバナー補佐、田中グループ幹事、ようこそおいで下さいました。

菊池 敏 新藤ガバナー、遠藤ガバナー補佐、田中グループ幹事、ようこそ！

宮村 宏 新藤ガバナー、遠藤ガバナー補佐、田中グループ幹事、ご苦労様です。

村上 久 新藤ガバナーようこそいらっしゃいました。

中谷 紘子 新藤ガバナー、遠藤ガバナー補佐、田中グループ幹事、ようこそ！

杉野志保子 新藤ガバナー、遠藤ガバナー補佐、田中グループ幹事、ようこそ！

関岡 俊二 新藤ガバナー、遠藤ガバナー補佐、田中グループ幹事、ようこそおいで下さいました。

津守 弘範 新藤ガバナーようこそ！

海野 榮一 新藤ガバナー、遠藤ガバナー補佐、田中グループ幹事、ようこそお越し下さいました。

渡辺ますみ 新藤様、ようこそおいで下さいました。勉強させ

て頂きます。

小林 正裕 ガバナー訪問、大変光栄です。

澄川 昇 欠席してすみません。

小泉 博 お客様ようこそいらっしゃいました。新藤ガバナー、卓話楽しみにしております。

本日の合計¥30,000 (累計¥115,845)

◎ご挨拶

米山奨学生 畢 波 様



電気通信大学大学院2年生のピ・ボウです。米山奨学生としていつもお世話になり有り難うございます。おかげさまで学業に専念でき、また多くの奨学生とも知り

合えました。第1志望のNECに就職内定が決まりました。皆さんに感謝申し上げます。

◎卓話者紹介

会長 伊澤ケイ子

1981年東京立川RC入会、86年東京立川こぶしRCに移籍(初代幹事)、95~96年同クラブ会長、2000年多摩中グループガバナー補佐、2002年東京立川こぶしRC会長(2度目)、多摩中分区幹事・地区ロータリー財団法人道的援助委員長・地区ロータリー財団委員長・地区クラブ奉仕委員長・地区ロータリー情報委員長・地区研修リーダー補佐を歴任。(有)カネイ商会代表取締役としてご活躍されてこられました。新藤ガバナーは大変な勉強家でいらして、ロータリーに関しましても豊富な知識をお持ちだと伺っております。

◎卓話 国際ロータリー第2750地区ガバナー

新藤 信之 様

先程ニコニコで大変歓迎を頂きました。毎回お伺いすれば奉仕活動の原資が相当な増額になるのでは?場合によっては毎回来てもいいかなと思ったりしました。

7月19日、3グループIMでもお話ししましたが、本日ガバナー訪問ということでRIのテーマ、李会長の強調事項、地区運営のあり方についての考え方などをお話しさせていただきます。

李会長は、保健と飢餓・水・識字率向上の強調事項を通じて世界中のロータリアンが一体となり、5歳未満の子供達の死亡率を低下させたい...との思いから「夢をかたちに」(Make Dreams Real)と掲げられております。李会長は「誰も助けることが出来なくてその子供達が死んでるのではなく、誰も助けられないから死ぬんだ」と訴えられました。開発途上国の子供達は治らないから、避けられないから...死ぬのではなく、マラリヤやはしか、肺炎、結核などワクチンや抗生物質さえあれば生きることが可能である筈なのに、食糧不足、栄養不良、と相まって免疫力が劣ったところで感染してしまい年間970万人



もの子供達が死んでいく・・・李会長は「我々ロータリアンは、分かっているけどなんにもしないという不作為をしてはならないのではないか」と強調されています。かつて、マザー・テレサは「愛」の反対語は憎悪ではなく「無関心」だと答えられたことがあります。我々ロータリアンは目の前で見ることが出来ることだけではなく、目に見えない世界の実態にも思いを馳せる必要があると考えます。

日本や世界の社会、政治、経済の状況は「閉塞感」が蔓延しているように感じられます。ロータリーを取り巻く環境も例外ではありません。会員数は1997年をピークに下降線をたどる一方です。こんな中、ロータリアンは何をするか？が問われていると思います。私は、この閉塞状況を打ち破るのに「変化」が不可欠であると考えます。強いから、賢いから生き残るのではなく「変化に対応」出来るから生き残れる・・・とダーウィンが唱え、かのチャーチルも「生き残るためには変化という代償を払わなければならない」と訴え、ポール・ハリスは「世界は絶えず変化している。ロータリー物語はたえず書き換えられなければならない」と言っております。

今、ロータリーはクラブや地区において「組織管理の方法」を「変化」する必要があると考えます。どの組織も制度疲労を起こさないために「能率」、「費用対効果」などを常に検証しながら「改善」され、運営しなければなりません。もう一つは、時代のニーズに従って「奉仕活動の実践分野（対象）」を変えていくことです。このことこそがCLPが目指している本意であると思います。お話を伺いますと、多摩グリーンRCではCLP導入に際し独自の取り組み方をされておられます。「クラブ運営管理関連委員会」と「奉仕プロジェクト関連委員会」との二つの委員会のみが常設され、その大きな枠組みの中にクラブの実情や変化に即した常任委員会を組織編成されるという斬新なものです。「奉仕プロジェクト」への取り組みも、継続事業を基礎として新規事業を新たに採用する際の方法として、基本となる方針は全会員で企画・立案・協議して会員の意見を取り入れ、毎年のように見直しをされるということで、今後の成長を期待いたします。2750地区には、20名以下8クラブ、20名代12クラブ、30～40名20クラブ・・・と40名以下のクラブが40クラブ存在します。あるクラブでは毎回

10名程度の例会出席者であっても何処でも行われている例会形式を踏襲されておられる様です。クラブにあった例会形式を採用されてもいいのではないかと考えさせられます。

地区の広報に関連する委員会としてガバナー月信委員会、IT委員会、年次報告作成委員会の3つがありましたが、今年度はこれを一体化しました。ややもすれば委員会業務の内容が重複したり競合したりするところがありましたのを簡素化し、これらに掲載する記事を整理統合して各委員会が担う広報活動を本来の役割に簡素化させる必要があると考えたからです。

7月に立ち上げられましたが、あまり活用されていなかった2750地区のHPに各クラブの活動を伝える機能をゆだね、また日々の書き換えにより自動的に積み上げられた情報を年次報告書作成の際にも役立てる。ことを目論んでいます。時代の変化への対応の一つとして、多摩グリーンRCでもHP立ち上げを是非とも考えて頂きたいと願います。

今年度、CLPによるクラブ組織とRI推奨の地区組織(DLP)との間の整合性・継続性を考え地区組織を思い切ったクラブリーダーシッププラン(CLP)に対応する形に変えました。奉仕プログラム委員会や会員基盤強化委員会などを立ち上げましたのがその現れです。これらの考えの詳細につきましては地区HPに掲載いたしておりますので是非お読み下さい。

奉仕活動の実践分野の変化についてお話しします。

RI理事会では1998年から2000年にかけて「奉仕の機会に関する項目」として以下の9つの世界的な課題のリストを作成しました。*危機下の児童 *障がい者 *健康管理 *国際理解と親善 *識字・計算能力向上 *人口問題 *貧困と飢餓救済 *環境保全 *都市部の関心事項 の9項目です。

以上に示されているメニューの中から地域社会のニーズに対応したプロジェクトを選択し、多摩グリーンRCであれば多摩地域に根ざしたテーマとしての奉仕プロジェクトを企画・立案・実施していただきたいと思うわけです。今後のロータリー・クラブではそれぞれのクラブの独自性、多様性に基づいた活動が求められます。

今日は、クラブの運営管理の方法や奉仕プロジェクトの実践分野の選択において「変化」することこそが必要であるという話をさせていただきました。当クラブは2年後に20周年の節目を迎えられるクラブとしてこれからが正念場であろうかと思えます。これからも20年目の先の20年後をも見据えた活動を続けて頂くことを期待しまして卓話を終了させていただきます。

◎点鐘

会長 伊澤ケイ子

(今週の担当 海野 榮一)